



サイジヤナル

月刊
5-5・6
第469号

日本サイ科学会 令和5年5月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北	中 部	北 陸	関 西	九 州
〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミスト金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200

六月本部例会のお知らせ

※会員は午後1時30分から通常総会、一般の方は午後2時からの本部例会からご参加願います。

日時 令和5年6月11日(日)

午後1時30分～2時 通常総会
午後2時10分～4時30分 講演

会場 北とぴあ9階901会議室
交通 J R京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端
(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)
一般三千円 学生一千円

講演
足心術と人類史から見た
歴史観

講師 加納京一氏

午後2時10分～4時30分

(講演内容)

足心術とは爪先から膝上10cmまでの反射区を押しながら、氣を通していく健康法となります。

◎事務局からのお知らせ

今回正会員・維持会員に、通常総会出欠用返信ハガキを同封致しましたので、6月4日(日)までにご投函願います。

また日本サイ科学会の会員メンバーリングリスト(2頁参照)に未登録で、登録希望の方は、「会員メンバーリングリスト登録希望」と書いて、受信用の個人アドレスを記入して、以下のアドレスに送信願います。
office21@psij.mail-box.ne.jp

今月号の記事

- ◎六月本部例会のお知らせ
- ◎事務局からのお知らせ
- ◎七月本部例会のお知らせ
- ◎御寄付御礼
- ◎メンバーリングリストとは?
- ◎理事長就任のご挨拶
- ◎10月全国大会研究発表者募集
- ◎関西日本サイ科学会五月分科会六月研究集会のお知らせ
- ◎第49回宇宙生命研究分科会予告
- ◎令和4年六月本部例会の報告I
- ◎ユング心理学の投げかけた課題(サイの広場第21号アーカイブ)
- ◎命が消えるまで心身健康でいるための生き方(2)

て自分の身体のよい方向性に近づいていくのです
◎気持ち良くて寝かしてくれない。

えー?とお思いでしょうが、その方の心や身体についてカウンセリングしながら施術をする為、寝ることはありません。その代わり、心も身体も整うのです
◎滞っている血流、氣がスムーズに流れ出す足心術をすることによって、身体の機能が通常モードに

戻されていきます。

終わって立ち上がった瞬間にその変化にあなたは気付くことでしょう！

◎加納京一氏プロフィール

私は私の両親と妻と三人の成人した娘に囲まれています。子育て親育てという実感のある父親です。仕事は足心術師、ライフワークは寺子屋開講です。

私の健康は社会の健康に繋がっています。そして国家の健康と繋がっています。正しい国家観歴史観を持つことは健全な生活と人生に繋がります。先人からの学びを土台に自らの経験則を生かす。足心道・足心術も宇宙の親である神様から学び実践から得た調和能力です。

賢者は歴史から学び愚者は経験から学ぶという言葉があります。私は歴史から学び無駄な失敗をしないように経験からも学び人生を成功したいです。縁のあった方には成功の手助けをしたいと思っています。

※5月の本部例会は通常のお休みとなります。

七月本部例会のお知らせ

身、口、意、を重ねて気の世界を体験するワークショップ

講師 中村康弘氏

日時 令和5年7月2日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階902会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改

札口を出て見える高層ビル

会費 会員 二千元(当日入会可)

一般 三千元 学生 一千元

(講演内容)

三密加持の理論を氣功法に取り入れ、瞬時に氣の世界に入る体験を皆さんと共有したいと思っています。弘法大師空海は、三密加持により即身成仏すると伝えられています。

三密とは身密、口密、意密を重ねる

ねることです。この理論を使って空の世界、脳波 θ 波(3～8ヘルツ)をつくります。リラクセス状態の α 波より更に眠りに近い脳波です。変性意識、集合意識ともいわれるこの状態になると、氣を感じるようになります。本人、その周りの人を癒す効果があるといわれています。氣の理論、氣を実感できるワークショップです。

◎中村康弘氏プロフィール

1955年生まれ、大学卒業と同時に起業、問屋、小売業を営む。能力開発、リーダーシップ論等を学び、人間力向上のために氣功法を学び始める。阪神淡路大震災の時、競争から共生へと氣功法を業としてスタート。従来の氣功法に、トランスパーソナル心理学、易経、幸福学などを織り交ぜ確立する。厚木市七沢温泉七沢荘を拠点に各地で教室、個人セッションを行う。

「心を科学する博物館」と一般の御寄付御礼

(4/3受領分まで)

金五万一千円也	浪平	博人
金三万円也	鴨川	裕司
金二万六千円也	森安	政仁
金一万一千円也	原口	和恵
金五千円也	宮前	昭子
金三千円也	牧野	邦子
金二千円也	畑中	邦晴
金二千円也	飛田	洋子
金二千円也	村上	一夫
金二千円也	小林	信正
金二千円也	占部	浩一
金二千円也	山田	真理
金二千円也	友寄	光子
金二千円也	小林	孝幸
金二千円也	濱田	敏博
金二千円也	奥村	八郎
金二千円也	欽野	秀三
金二千円也	瓜生昌代司	様
金一千円也	小木曾共佑子	様
金一千円也	赤松	洋一

ML(メーリングリスト)とは？

日本サイ科学会の事務局も含めた会員同士の情報交換の仕組みです。

本人の希望により、メールアドレス(パソコン用、携帯用どちらでも)がメーリングリストに登録

されますと(手続きは事務局が行います)、ML用のメールアドレスをお知らせします。

自分が会員の皆さんにお知らせしたい「サイ」関係の情報、自分の著書の出版、学会発表、テレビ出演、あるいは他のサイ関係の学会・研究会の予告、「サイ」に関わる旬な情報等がありましたら、その内容をML用のメールアドレスに送信しますと、瞬時にMLに登録されている会員全員にそのメールが届きます。

その情報に対しての、返信も同じメールアドレスに送信しますと登録者全員に読まれます。

※マナーとしましては、個人や団体の批判や攻撃、特定の商品やサービス、会社の宣伝にあたるものはお控え願います。また、添付ファイルはウイルスが潜む可能性がありますので、禁止となります。

※メーリングリストでの事務局からのお知らせに対して、個人的に質問したいときは、返信ボタンを押すと自動的に宛先に入ってしまうML用のメールアドレスではなく、左記の日本サイ科学会のメー

ルアドレスに書き換えて返信願います。

office21@psj.mail-box.ne.jp

◆ 日本サイ科学会 理事長就任のご挨拶 ◆



この度、日本サイ科学会のためにご尽力された久保田昌治先生がご逝去され衷心からご冥福をお祈り申し上げます。

後任として理事長に選出、就任した小林信正です。微力ながら会の発展の為に努めさせて頂きます。

私はテレビ局に長年勤務して番組を制作、中でも超常現象の謎解

きに好奇心と視聴率という実益が相まって多数の番組を制作してきました。

国内はもとより海外の特異能力者にも多数取材、イギリスの特派員時代にはゴーストハンターとロンドンの幽霊屋敷探訪にも参加し、「霊」に執念を燃やした奇人変人ですが、残念ながら私は一度も幽霊を目撃したことがありません。とは言え、様々な実証的研究の結果、六十年経った今日では正しく「死後も霊魂は存在する」というエビデンスを得ています。

平成十二年退社して、制作会社を経営、各テレビ局の番組を制作する傍ら大学や企業の講演等行い、元公益財団法人日本心霊科学協会で常任理事を務め、退会後の平成二十三年四月、日本サイ科学会の理事に選出されました。

サイ科学会はミクロの素粒子の世界からマクロの宇宙構造に至るまで、未だに未知の世界は存在し、従来の科学で解き明かせない超常現象、サイ現象を研究しています。スタッフには多彩な人材がおり、宇宙生命体から惑星の運行が

運勢とか地震にも影響を及ぼすことや、人体の脳波が創造性開発に関係していること、フリーエネルギーの研究から病気になる前の未病やスピリチュアルヒーリングなど様々、時代のニーズに応えた研究活動をさらに発展的に行って参りたい所存であります。

私は人々の生命や幸福に役立たない科学などは無意味だと考えています。世のため人のために役立つ研究を皆さまで共にも進めて行きたいと考えています。

未だ日本サイ科学会の存在すら知らない人たちが多くおります。今後とも会の発展の為に勧めて頂き、ご理解とご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

◆ 2023年日本サイ科学会 第31回全国大会発表募集 ◆

毎年重要な行事である全国大会が、今年も10月9日に開催されます。会員の研究発表+シンポジウムが予定されておりますが、会員の皆様には積極的な発表ご参加

を期待しております。

今年のシンポジウムのテーマは「宇宙人とサイ」に決まりました。米軍によるUFOの目撃証言が、新たに数百件に上っていることが、今年の1月に米政府から報告がありました。日本サイ科学会の主要なテーマとして検討していきます。

会員の研究発表では、シンポジウムのテーマに関してでも、そうでなくてもOKであり、これまでの研究での新しい発見、現在もしくは近いうちにデータ取りをしてまとめたこと、偶発現象(UFO、心霊現象等)の目撃と原因の推測・解明、様々なサイ現象の仮説(理論)など「サイ」に関連することなら何でも結構です。ご自分の考えや研究成果をまとめて、発表して頂きたいと存じます。

7月末までにタイトルと簡単な内容(200字くらい)をメール、またはFAX、ハガキでお送りいただき、一応審査させていただきます。通りましたら8月31日までに原稿ファイルをメール添付等で戴きたいと思います。原稿の書式は

後でお知らせ致します。

※全国大会での発表はできないが、論文集「サイ科学」の資料として、発表したい原稿も募集致します。

論文集「サイ科学2022」末頁の「サイ科学の投稿審査規定」をよく読んで、応募願います。

関西日本サイ科学会 五月分科会のお知らせ

「頭蓋骨発声」の可能性

講師 松本真弘氏
(真言宗醍醐派阿闍梨)

日時 令和5年5月14日(日)

13時30分開場 14時開演

会場 まつむし音楽堂2階Aスタ

ジオ

・阪堺電車上町線「東天下茶屋」
駅下車徒歩5分

・大阪メトロ御堂筋線「昭和町」
駅から徒歩15分

・まつむし音楽堂から阿倍野筋沿いに徒歩10分

会費 会員 五百円 一般 千円

(講演内容)

松本阿闍梨が伝承する「頭蓋骨発声」は古代の祝詞(のりと)奏上で用いられたと推測されますが、耳を介さず(大気を媒体とせず)直接的に脳に伝達する発声法のようなものです。いわゆる「テレパシー」も同じような原理かもしれません。音としてはかなり小さく、富士通テンの無音室で録音したときは通常のマイクで録れず特殊な電磁波マイクでようやく録音できたということです。

当日は松本阿闍梨による実演と質疑応答も予定。進行は関西日本サイ科学会前会長、和田高幸。多数の参加をお待ちしています。

※ご参加お申し込み、お問い合わせはまつむし音楽堂へ

TEL 06-6624-0559

関西日本サイ科学会 六月研究集会のお知らせ

本当に祈願が叶う神仏への
祈り方実習講座

(会場参加者一人一人に指導します)

講師 橋本和哉氏

(関西日本サイ科学会会長)

日時 令和5年6月24日(土)

午後3時～5時30分

※時間多少ズレる事あり

会場 摂津市市民ルーム大会議室

阪急京都線、正雀駅から徒歩3分

<https://shojyakunet>

会費 会員 3500円(当日入会可) 一般 4000円

WEB参加費 3500円

(WEB参加の方も実習はできませんが、一人一人の指導まではできません。IDなどは日取りが近づいたらお知らせします)

※懇親会は午後6時頃から15名までを考えています。場所は未定、後日お知らせ

持ち物 自分の好きな神仏、気になっている神仏の写真を複数枚持

参く下さい。またお札が有れば実物かその写真を持参く下さい。

(講演実習内容)

神社仏閣へは本当に祈願が叶うと思ってお詣りされていますか？私も神仏研究をしていなかった時は神仏祈願がそれほど効果があるとは思いませんでした。神社仏閣にお金を払って祈願を頼んでも叶いませんでした。

今から思えば神仏祈願に適切なことをしていなかったのですね。

神仏祈願のポイントは以下です。

・祈願を叶えるため消費するエネルギーを祈願する貴方が神仏に渡すことです。

・次にあなたと神仏との相性。神仏は貴方に親しみを感じているか、お手伝いしたいと思っているかは大事なポイントです。そして神仏がその祈願を叶えることを得意としているか？です。

こうした理論に基づいて祈願を指導してみたところ奇跡的なことが起こり始めました。

例えば、失踪して何年も探して

も分からなかった息子が戻ってきた、憑依していた魔物が数日で払われた、何年も居座っていた暴力沙汰になる隣人が短期間で引越した、など多数有ります。

神仏の力は本当に有り、すごいのだなあとつくづく感じました。

今回の講座では理論的なこともさることながら実習時間を多く取ります。会場に参加されたみなさんが一人一人上手く祈願できているかをチェックしながら指導いたします。

また会場に神仏をお呼びして祈願する実習もしてみたいと思っております。

実習としては

1. 気エネルギーを感知する
2. 神仏をチャイイスする
3. 神仏のパワーを最大限にアツプする
4. 願い事を決めて神仏に伝える
5. 願い事を受け取ってもらえたかチェック
6. お供物の選び方
7. 護符の選び方、組み合わせ方
8. パワーの落ちない護符の祀り

方

9. ちょっと難しいですが、神仏をお呼びして依頼するなどを予定しています。

さらに時間有りましたら、祈願により奇跡的なことが起こった話、逆に神仏の言う通りしてどんな貧乏になった話、神仏の怒り、巫病など怖い側面を含めて神仏の実相をお伝えします。

エネルギーや相性など、これまでは違う神仏の講演ですが、実習を通じてその理論を体得していただけたらと思います。

・神仏祈願の効果を感じられなかった人

・本当に効果のある神仏祈願をしたい人

・神仏とはどのようなものか知りたい人

・神仏を通じてスピリチュアルの世界を知りたい人

には特にお勧めいたします。

申し込みは

会場参加、あるいはWEB参加も含めて、申し込み先は

kansai.psi.2023@gmail.com

◎件名には以下ご記入願います。

6月24日会場参加(またはzoom参加)希望、

懇親会参加希望(または参加しない)

◎本文には以下ご記入願います。

1. 氏名、会員か非会員か
2. メールアドレス
3. 連絡先電話番号
4. zoom参加希望のzoom名のある方は書いてください。

申し込み受付後に振込先をお知らせいたします



第49回宇宙生命研究分科会
第17回UFO・オーブシンポジウム

テーマ「宇宙人革命(其の3)」

日時 令和5年7月16日(日)

午前10時～午後4時30分

会場 北とぴあ7階第二研修室

交通 JRR京浜東北線王子駅下車
徒歩2分、ホーム最北端

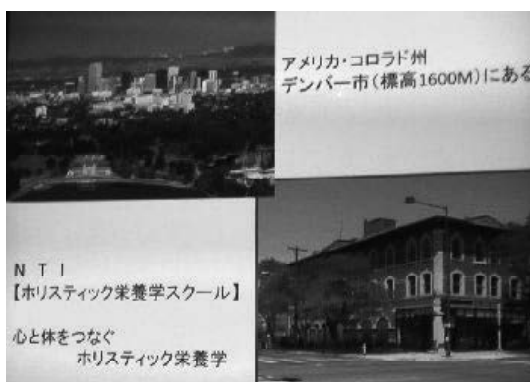
がら聞いていただいているんじゃないかと思うわけです。

次に体は60兆から100兆の細胞から構成されていることは、解剖学や生理学をみても明らかです。そして今世の中の多くはこの心の問題と体の問題が相關関係にある、ですから体ばかり見てもダメですし、心ばかり見てもダメなのです。

突き詰めていきますとやはり最終的には一番やっかいで分かりにくい「魂」という部分、ここに入って行かないとすべての3つの要素というものは成り立たないと思います。今日は言葉としてはスピリットという言い方をしたり、魂という言い方をしたり、もっと分かりやすく言えば意識という言葉を使って説明をさせていただきたいと思います。

これをアメリカではアカデミックに30年前くらいからやるようになってきました。私がこういったことに関心を持ち始めて、かれこれ40年近く経つのですが、20年前くらいにこういった考え方をアカデミックに伝える学校ができたのです。この学校に私は15年くらい前に縁があったのですが、アメリ

カの標高1600メートルのデンバー市にNTI（ホリスティック栄養学スクール）がございいます。写真の後方に見えますのはロッキーマウンテン脈でして、非常に風光明媚なところに立地しています。



ここは心と体を繋ぐホリスティック栄養学を教えているところであります。そしてこの学校と3年に渡って交渉しまして契約をしました。次の写真が私どもの学校ですけれども、今から12年前の2010年5月30日に日本提携校として「ホリスティック・カレッジ・オブ・ジャパン」を設立しました。



現在までに170名くらいの卒業生が栄養学を学び、そして心のことを学び、認定のアメリカの栄養コンサルタントの資格というものを取っていただいております。

こんなことで自身キャリア的にはアメリカのほうの大学に行った後、帰国して仕事をやりたりしておりますが、ただ今日私がなぜこのようなお話をすることに至るまでになったか、私のプロフィールをしばらくお話し致します。私は1960年に新橋でお肉屋の4代目として生まれました。



子供のときに自分として一番印象に残っているのが、意外と信心深かったことです。親から毎日神棚と仏様にはちゃんと挨拶をなさいと言われまして、小学1年生ぐらいから、朝起きたら必ず1階の帳場の前にある神棚に手を合わせ、また2階に上がって行って、仏壇のお水を取り替えて祈りを捧げました。子供なので祈りという高尚なものでもなく、何かの願い事を唱えておりました。

小学校1年2年生のときに運動会で駆けっこの1位を取ってきたので、小学校3年生の時から「小学校6年生まで駆けっこでずっと

1位が取れますように！」と祈っておりまして。お陰様で小学校6年生の最後まで駆けっこで1位を獲得することができました。合わせて小学校5年生のときから、毎日「中学受験で中高一貫校の〇〇中学に行けますように！」と祈っておりまして。

さて結果はどうだったでしょうか？

落っこちたんですね。うまく行かなかった。そのとき単純ですから、「なんだダメだった、もう神も仏もないや」と考えてしまいました。そこから中学、高校の6年間というのは、もうそんな信心深さは皆無となり、「神様がいるなら連れてきてくれ！」というようなことで、どっちかというところ、いいい中学高校生活は過ごしております。

そんな中で父親が肉屋から全然違う宝飾関係の仕事に替わり、私もびっくりですが宝飾関係の跡継ぎに替わったのです。父親はジュエリーやゴールドやプラチナ関係の貿易を商うようになってましたので、私は子供ながらもどこか外国に留学して英語を勉強しようと思った矢先に、アメリカの

ロサンゼルスで宝石の鑑定士になる資格が取れる学校があったのです。GIA (Gemological Institute Of America) というのですが、私は高校の卒業式の3日後にアメリカの方に行くことになりました。

実はこのアメリカに行ったことというのが私の今日に至るまでの人生を大きく変えた1頁であったことは間違いありません。ただ18歳からアメリカに行っておりまして、親元を離れて一人でやっておりまして、いろいろな事で間違った選択をするわけですね。(続く)



第四七二回関西日本サイ科学会研究集会報告

土地、建物に関する悩み事相談を公開で答える講座

2023年4月15日

はしもと内外科クリニックにて

講師は、関西日本サイ科学会前会長の和田高幸先生です。世界的プロ・ダウザー故ビル・コックス

氏と水源探知から深井戸鑿井工事までわが国初の事業を共同で成功に導きました。もう一人は関西日本サイ科学会会長、気当で診断で相談に答える異色の医師、橋本和哉が担当しました。

二人とも、著作があり、相談を受ける、講座を行うなどしています。

家、土地に関しての相談では、水脈、地磁気、グリッド、湿地、龍穴、龍脈、イヤシロチ、ケガレチ、先住者の意念、瘴気、鬼門、家の配置、家の形、庭木を切った、などのサイ科学的な目で見ていきます。



1つ目のケースは、池の側に建つ家の状態チェックでした。湿度の影響は注意です。高い位置にあ

るのですが、その影響はあると判定されました。

2つ目、引きこもりの人がいる家をチェックしました。そこは埋立地のようでした。埋立の場合はどんな物が埋め立てられるか分かんず結構、マイナスエネルギーとなりやすいです。この土地から離れる方が良いと思われました。

3つ目、引越して来たらすぐにご主人が癌になりました。調べてみると地域に魔物の憑依体が居てそれが家の中に入って影響されていました。

対策として部屋を開放させて気の循環を良くして外からの魔物エネルギーを跳ね返すよう鏡をたくさん付けることを勧めました。

4つ目、家の西側地域が良くない、東側は良い、良くない方に行くとしんどい。弯曲して流れる川の外側の地域にマイナスエネルギーがある。そこに憑依がある。元々、沼地が有った地域でもある。東側にある駅方向に行くのを勧め。その方が住んでいるマンションは風水を考えて建てられて

いて良い場所と考えられた。

5つ目はご両親の住まいの相談。浄水場の近くに住むようになって飼いだ脳腫瘍になり、お父さんが心臓病になりました。浄水場からマイナスエネルギーが流れて来ていると思われました。浄水場側に向けて鏡をたくさん置いて防ぐようアドバイスしました。

6つ目、去年7月に引越して住んでいる家に何か具合悪いことが有りますか？特に無いとの結論。

7つ目、マンションに引越したその日に男性の霊に抑え付けられた。お参りしてその現象は無くなった。家の中に床下収納、掘り炬燵を開けていない。どうしたら良いか？マイナスエネルギーは無い感じで炭を入れるのを勧めました。

8つ目、職場の近くにお墓が集まっているの見える。夜までそこにいることがある。大丈夫ですか？との相談であった。この辺は墓地だった所を整理して建物を建てた可能性がある。しかしお寺さ

んがしっかりしてお墓の供養もよくしている。大丈夫と思われる。近くに川が有るがよく流れていて良い。

ケース相談はこれくらいで後は質疑応答がしばらく続きました。

今回の相談を通して、途中、住居が原因で体調不良を起こすのはマイナスの気エネルギーを発するモノが近くにある場合が多かったと考えられます。

水辺は湿度が上がりやすい。埋立地はどんなもので埋め立てされているか分からずマイナスの気を発しやすい。憑依体居て心身に悪影響が及ぶ。弯曲して流れる川の外側の地域や沼でマイナスの気が生じやすい。浄水場は汚水が流れ入るからマイナスの気が生じる。などでした。

風水的には植物を置いたらマイナスの気が和らぐと書いていますが、今回の何例かのケースでは鏡でマイナスの気を跳ね返す方法が効果ありそうだと思います。その鏡ですが、マイナスの気を跳ね返すような面積は広い方が良いでしょう、100円ショップで売ら

れているような鏡をたくさん使うのも勧めです。

講座後は懇親会を行いました。懇親会でも質問がいろいろ出てきておおいに盛り上がりました。中には土地、建物とは関係ない、このグズは自分に合っていますか？などの質問も多くありました。和田先生はダウジングのペンジラムを持って来られました。一人一人に合ったペンジラムを気当てて選んであげたところ、とても喜ばれました。自分に合う物はやはり嬉しいですね。



サイの広場第21号(1997年12月発行)アーカイブ

ユング心理学の投げかけた課題

堀部道子

ユングは無意識についてフロイトを一步進めて、いくつかの新しい

い概念として、集合的無意識・元型・シンクロニシティ・等を打ち出した。ユングが投げかけたテーマは見えない領域である無意識を扱ったものであるだけに、越常現象や宗教的概念と関連しており、その波及範囲は広い。

長年ユングを研究してきた湯浅泰雄氏は「ユングは、既に評価の定まった過去の学者あるいは思想家ではなくて、今も現代の学問と人間に対して次々に疑問を投げかけている予言者である」と述べている。このような観点から、ユング心理学の投げかけた課題について考えたい。

(1) 集合的無意識、二元型の意味するもの

ユングは人間の無意識の領域において、互いに影響しあったり、共通している概念があるのではないかと考えて、集合的無意識という仮説を打ち出した。そして、集合的無意識の中に人類共通に存在する像(イメージ)として、元型を提示した。それは、白い髭をはやしたおじいさんであるアニムス(女性の中にある創造的な自己)、

そして女神やグランドマザーであるアニマ（男性の中にある女性的な自己）である。

ここで、上記の概念を理解する様々な文献にあたる時、疑問に思うのは、果たしてユングは現代人が考える程に厳密な定義をしたか、という点である。ユングは瞑想時に登場してくる人物（？）をフイレモンと名づけたが、アニムスの定義をそのフイレモンに似せて、「白い髪をはやしたおじいさん」と設定したところなどから推測すると、どうも、あまり厳密に定義していたとは思えないふしがある。

普遍性を帯びた存在であるアニムスが、なぜ白い髪をはやしていかなくてはならないのか、若干理解に苦しむところだが、それは「白い髪をはやしているおじいさん」を、クリスマスの時だけ巷に登場するサンタクロース以外に、実生活の中で全く見たことがないからピンとこない、あるいは、好みというかもっと別の存在であれかしという、単なる私の個人的見解や期待感が原因であるかもしれない。一步譲って、ユングの時代には普遍性を帯びた存在であったとして、普遍的存在（のイメージ）

は時代と共に移り変わるのだろうか。「時代と共に移り変わる普遍的存在」というのは、ある意味では言葉上の矛盾があるとも思われるが、ユングはそこまで考えていたのだろうか。

また、文献に散見される元型の定義は、「人間にとつての理想像とみなす」ような場合から「本能と同じようなものである」とするものまである。さらには、果たして、元型として・アニムスを「女性の中にある：」「アニマを「男性の中にある：」と性別に限定して定義をしていたのかという疑問も生ずる。

このように、様々な解釈が有り得るということは、もともとユングは元型の概念をあまり厳密には定義していなかった、あるいは定義し得なかったのではなからうか。そのことが「ユング心理学の中でも、集合的無意識と元型の概念が最も混乱をまねきやすく、また、難解だとふつう考えられている」という結果を導いたと考えられる。反面、様々な解釈が存在するからこそ、思想としての永続性・発展性があると見ることもできる。

これに関連して、湯浅氏は「集合的」という言葉がわかりにくい

として、次のように述べている。

『日本では「普遍的無意識」と訳している場合もあるし、ユング自身も「非個人的」とか「超個人的」という言葉を使っていたこともある。個体としての自我の支配を越えているという意味ならば、このような言葉の方がむしろ適切である。』

ユング心理学に難解さを付与している他の要因としては、無意識の領域のイメージが顕在意識に上がってきた時に、「それは無意識の領域からきたイメージである、と顕在意識で判断する」という面があることである。したがって、無意識と顕在意識が比較的疎通しやすい人には容易に理解できることであつても、そうでない人には実感として非常にわかりづらい。わかる人にはわかるが、わからない人にはわからない、という平行線から出ない内容を秘めている点である。多くの人々にとっては、無意識の領域の妥当性を顕在意識で吟味せざるをえない、というジレンマが存在するのである。

(2) フイレモンとは何者か？

（神概念、宗教との関連）

ユングが瞑想するとイメージとして登場するフイレモンは、意志や感情を有しており人間味を帯びた存在でありながら、通常は見えない存在である。そういう意味で、「超個人的」とは言えるが、「集合的あるいは普遍的存在」かどうかははっきりしない。

ユングは、フロイトに続いて無意識の探究から、というよりフイレモンの存在を何と説明したらいいのか悩んだ末、宗教の領域に入り込み、結果としてあるべき宗教を模索せざるをえなかったのではないだろうか。：フイレモンは「神」なのか「人間」なのか？

ユングは、キリスト精神の徹底により、ヨーロッパ的人間の魂の世俗化を余儀なくし、硬直した西洋精神を問題とし、グノーシスを研究することにより、無意識領域に押し込められた情念を解放しようとした。これは別の見方をすると、一神教による人間の精神の硬直化に対して、多神教を導入することにより、人間性の回復を図ろうとすることである、と見ることができる。また、それは人間における自己の神性（仏性）の認識で

もあり、同時に人間と神の關係の再定義をも意味するだろう。

ユングは西洋精神を深いところで担っているキリスト教に対して、無意識の領域から異義を唱えることによって、鋭く問題を提示したのである。

また・それは、「無意識の領域の探究」を通して、「諸宗教の違いを乗り越えるための一つの方法論」を提示しえたとも言えるのではないだろうか。すなわち、人間の無意識の領域においては、一神教と多神教は融合しうる可能性があるのである。そして、多くの宗教における教えの違いは、同じ概念を別の言葉を用いて、別の言い方で述べたものであるという方向へ導く道筋を指し示しているのではないだろうか。

ユング心理学を一步進めて、より普遍的概念としてセルフがあるが、一神教における神、タオ、涅槃、仏（性）に近いものを想定している。多神教の神、高級霊、精霊、それは、ユングにとつてのファイルモン、集団無意識の元型に概念上では重なってきている。どうも、ここまで来ると信じる信じ

ないの領域に入ってきており、宗教とどう違うのかが問題となるかもしれない。「ユング心理学という名前の新しい宗教」とでもいふべき様相である。ただ、「宗教」という言葉にはすでに固定したイメージがあるので、宗教という言葉は一切使わずに、今まで宗教のもとで語り継がれてきた真理（宗教的概念）を心理学用語に置き換えて説明する試みではないかとさえ思えてくる。

ただし・ユングはユング心理学という名前の新しい宗教の誕生までも、果たして意図していたのだろうか。

（3）シンクロニシティと宗教

シンクロニシティは「共時性」と訳されて、「因果の理法を越えた、意味ある偶然の一致」あるいは「因果的連関の原理としての共時性」と定義されている。これは、日本のことわざにある「うわさをすれば影」「一度あることは二度ある」などの現象と共通するものを感じる。また、宗教における「お陰、ご利益（りやく）」を別の言葉で説明しようとしているようでもある。

共時性の概念によって包括される現象はかなり多い。予知、テレパシー、透視等の「ESP現象」、また、物事がスムーズに達成される「円滑現象」、自分の願いがかなう「自己実現の原理」なども共時性体験に含まれると解釈される。

また・共時性が生じる原理としては、顕在意識と無（潜在）意識の両方の意識（想念）がある空間エネルギーを発生し、目的物や関連事項に伝わって現象を発生させる、と推察される。このような意識の働きを物語るようなことは、我々もしばしば経験することではないだろうか。次に述べるようなことは、良くあることである。

ある人（A）が、別の人（B）に会って話をしている時、Aは自分の顕在意識と無意識をアンテナとして、Bに関する顕在意識と無意識にまたがる両方の情報をキャッチしている。しかしながら、Aは、会って話している最中は顕在意識しか作用しないため、限定された情報しか意識しない。ところが、後になって、何かの拍子で無意識が働くと、Bに関して自分の無意識で得た別の情報を認識する

ことになる。「あの時は気がつかなかったけれど、そう言えば、Bは何かいつもと違って変だった」といったような具合である。

同様に、人がある行動を取る時、本人は自覚しなくても顕在意識と無意識は共に働いており、その人の行動は、いわば見えない波動となつて、周囲に影響を与えていることが考えられる。このように考えるなら、人は毎日何らかの意識（想念）を抱いて生きているから「毎日が共時性」なのではないのだろうか。ただ、それに気がつかないだけである。

問題なのは、共時性現象にはどんな意味があり、どう解釈したらよいかということである。ひとつ言えることは、共時性現象は、自己の無意識の働きと関係があり、自分自身のありようが投影された現象ということである。従つて、これらの現象が生じうることとを理解するならば、自分の身の回りに起きるちよつとした出来事に注意を払い、自秀が当面する人生の解釈に適用すれば、それらは、これから起こることの前ぶれ、警告、時には疑問に対する答、さらには（神との）暗黙の会話（インスピレ

ーション）であり、次に起こるトラブルを避けたり、迷いに対する答を得て、今の自分に起きている出来事の意味をよりよく自覚することが出来る。その結果、自分の人生をより良く、より深く生きることが出来るようになる。

（4）これからの広い意味での科学（深層心理学を含める）のめざすもの

―経験的探究に基づいたたましいの科学の可能性―

超心理学あるいはニューサイエンスが当面している問題のひとつに「再現性」の問題がある。人間の意識を対象に研究する場合、実験結果は同じ被験者であっても状況によってむらがあり、ましてや違う被験者においてをやである。誰もが等しく、いつでも同じようにピアノを弾けるわけではないのと同じである。再現性がなくても、「信頼のおける実験条件や設備によって得られた事実は事実として認める」ことこそ科学的と思うし、真理の探究はそこから出発するのではないだろうか。

また、人間の常として、わが身

に生じた特殊な出来事を普遍化する傾向がある。例えばある人がある経過をたどって霊能力を得たとしても、すべての人間がそのルートをたどらねば霊能者になれないわけではない。人それぞれである可能性は大であり、このことが容認される社会的雰囲気が生ずるならば、かつてのユングのみならず、程度の差はあっても現代においても同じことが言えるが、気違い扱いされるのを恐れて公表できなかつた個人的経験（超常現象）も、気楽に公表できるようになるだろう。湯浅氏は、このような問題の突破口として「（主観的）経験科学」を提唱している。

『深層心理学は専門諸学科の区分を無視する学問であり、その所属がはっきりしない。新たな学問領域である、個人の内面的体験の領域を探究する「経験科学」の可能性もあるのではないか。』

「何らかの形において経験的探究に基づいたたましいの科学ともいふべき研究が可能になるとすれば、それは、科学と宗教の間に新しい接点を見いだしてゆく役割を果たすのではないか」

「（主観的）経験科学」の方向性

は、このような「霊能力における個別性の認識」という道を開くものとなるだろう。ただし、しばらくはその公表された個人的な経験に対する評価をめぐって混乱があるだろうが、多くの経験例が集まるに従い、それらはやがては類型化され、人間の可能性に対するより深い理解がもたらすのではないだろうか。

* * *

湯浅氏は、さらに人間としてないがしろにできない問題を提起している。

「人間にとって本当に重要なことは、我々一人一人の運命をいかに生きるかということである。現代が必要としているのは、たましいの領域についての経験知に基づいて、発達の極に達した現代の科学・技術と人間性を新しい視点から統合する知ではないかと思う。」

ユングが打ち出した深層心理学上の概念は、「人は何のために生きるのか」という人間が常に戻ってしまふその問いかけに何と答え、「生命体の持つ合目的性」をどのように説明しているだろうか。

「思うに、人間の、また人生の根本問題については理論的解決というものはありえない。生の意味についての問いは、我々ひとりひとりが自分自身のたましいの行方について考え自分自身で答えてゆく他ない問いである。既存の答は誰にとっても真の答とはなりえない」と湯浅氏は述べているが…。

現代に生きる予言者ユングは、その答として、我々に無意識領域を指さして、ここを調べてごらん、と教えてくれたのではないだろうか。

（主な参考文献）

- ・湯浅泰雄「ユングと東洋、上」人文書院
- ・湯浅泰雄「ユングと東洋、下」人文書院
- ・湯浅泰雄「ユングとキリスト教」人文書院
- ・ローレンス・ヴァン・デル・ポスト「CGユングの物語」BBC放送
- ・「こころの科学55」（ユング派の心理療法）日本評論社

物事に執着せぬこと。

- ・天才とは先祖の前世において、汗と涙と脂の結晶となる努力のおかげでなる。
- ・善を行えば必ず善、悪を起こせば必ず悪に報われる。
- ・人を憎めば2倍になって自分に返ってくる。
- ・受けた恩は忘れずに、生ある限り報いること。
- ・神仏から与えられている運命の八部は自分次第で変えられる。六部が宿命、四部の努力で運命が変わる。
- ・仕事に心を尽くし、もって生まれた寿命以上にこの世に長く生きて新世の業を消すよう努めること。
- ・守護霊は妊娠4、5ヶ月で選ばれる。
- ・人の価値は学でもなければ金でもなく、ただひとつ心。世間でいう心の持ち方、心のあり方が、自分の生き様となる。
- ・他の人の運命を良くするために努力すれば、自分自身の運命も良くなる。
- ・愛を与えれば愛が返ってくるのが世の中の仕組み。

●健康長寿のために

続いて、健康長寿のための気づきや教訓を端的にお伝えします。この中には80歳～95歳までの人たちに聞いた経験談も入っています。

- ・長生きの秘訣はむやみに腹を立てないこと。嫌な想いは早く忘れること。心をきれいにし、世のため人のために働くこと。
- ・毎日を愛と仕事で生きることこそ健康なり。愛は宇宙の光なり。
- ・先祖に身を任せ、自分の仕事に一生懸命打ち込むことが肉体を長持ちさせる秘訣。肉体を大切にすれば健康になり心も穏やかになる。
- ・人と人とのつながりを大切にすること。毎日誰かが訪ねて来ることや出会いに感謝すること。
- ・家に閉じこもっているのはよくない。冗談を言い合い笑って楽しく暮らすこと。
- ・世のため人のために尽くし、先祖に感謝して夫婦仲良く、家庭でも外でも人と争わない。さらに夫婦の両家とも信仰心があって先祖も徳を積んでいるならば自ずと健康長寿となる。
- ・先祖が徳を積んでいる家系は長寿であり、人を助けることによって寿命が伸びていくと思わ

れる。人を助けてこそ自分を助かる。

- ・心が明るく人間関係を良いほうに考える人は、年をとるにつれ若く見える。心が暗く人間関係を悪いほうに考える人、争いごとが続いている人は、年をとると共に老けて見える。
- ・人を憎まない、人に憎まれない生き方をすること。
- ・食事中は特に不平不満を言わないこと。憎しみや怒りなどをもたず、楽しい心、感謝の心で食事をすれば、内臓が活発に働いて良く消化吸収し、健康でいられると考える。
- ・自分の体験として、食欲のない時は「私の想念の過ちをお許しください」と祈ると正常になる。

これまで出会ってきた方々、ここまで読んでくださった皆さんに感謝いたします。

安心して平穏に生きることは、心の最大の薬ではないかと私は思います。うれしく楽しい心であれば、血液はアルカリ性になり体内を巡って活力を与えてくれます。怒りの心を持続けていれば、酸性の血液になって全身に悪影響を及ぼすのではないのでしょうか。

父親、母親、妻、夫など家族が仕事から帰ってきたら「お帰りなさい、ご苦労さん」と感謝とねぎらいの心で迎えること。その一言で1日の仕事の疲れも気持ちも癒され和やかになります。こういった心の通い合う家庭、気持ちの通じる人間関係の中でこそ、皆に幸せが訪れるはずです。そして「また明日も頑張ろう」という気力がわいてくるのだと思います。

長崎で人気のカステラ職人さんから聞いた話が印象に残っています。何十年もカステラを作り続けているけれど、心に悪念がある時は良い製品ができないのだそうです。たとえば家族と言い争いをしてしまい、謝らないまま仕事をしていると、なぜか店頭に並べられない二級品ができてしまったりするのだと。私にとってはとても納得できる話です。

素直な心で調和した人間関係を築き、幸せに天寿をまっとうする生き方を皆がしていけば、原因不明のウイルスや愚かな戦いなど恐れることはない。そんな想いのもと、健全な世の中であること、人々の心が平穏であることを祈らずにいられます。(終)

スが多いそうです。ちなみに、内臓の不調はご先祖様からのメッセージ、腰や肩の不調は他人から受けるメッセージであることが多いようです。

私が特に何度も見てきたのは肝臓の病気です。一般的に過度な飲酒は肝臓に良くないと言われます。けれど、楽しく仲良く酒を飲んでいる人は、毎日飲んでも肝臓の病気にはなりにくいように感じます。ストレス解消のために酒を飲む人は肝臓を悪くしています。それだけでなく、他人の悪口や不平不満が多い人、短気で怒りっぽい人は酒の量にかかわらず、もしくは酒を飲まなくても肝臓を悪くすることが多いようです。

本当に人々の健康を考えるのであれば、この真実を広く知らせる努力をしてほしいものです。目に見えない世界のことを無視せずに、実際の例を研究したり、メディアで発表したりしてほしいと願っています。

●幸せも不幸も自分次第

私は人が幸せになること、不幸になることをたくさん見聞きしてきました。そして出会った事実を自分なりに研究してきました。

ここまで書いてきたことと重なる部分もありますが、大事なことなのでまとめておきたいと思います。お読みいただければ、誰もが幸せになることができるとわかるでしょう。不幸になる行いを避け、幸せになるよう努めればいいのですから。

不幸になる原因は他人を傷つけること。他人を不幸にすること。他人の不幸を喜ぶこと。憎しみ、恨み、妬みや、人をけなしたり、いじめたり、バカにしたりすることは、すべて自分に返ってきます。

不平不満を言うのもいけません。今あるものに満足せず、悪い面だけを見ることに問題があります。そして、自分自身を大切にせず不摂生をしたり、悪いことをしたりすれば病気になります。嘘をつく、昔のことを根にもつ、くよくよする、そして人を愛せない。これも不幸の原因になります。

こういったことの多くは、ストレスが引き起こしています。そのストレスのもととなるのは不満、不安、自信のなさ、怒り、迷い、拒絶、思い通りにしたいというわがままなどです。

正しくまっすぐに生きること、正義を貫くことが健康で楽しく生きること、つまり幸せへの道です。

家族が仲良く、親孝行をする人。他人に感謝して、毎日「ありがとう」の心で生きる人。おおらかな心、穏やかな心で周りの人に好かれる人。世のため人のために尽くし、無償の愛で出会った人を助ける人。そして自分自身が幸せだと気づいている人。そういう幸せな人になるために、今日からできること、すべきことがあります。

●心の勉強から学んだ人生訓

ここからは、私が得た具体的な気づきや教訓を端的に伝えていきたいと思います。

- ・人生の中で徳をもって人に勝つものは栄える。力をもって勝つものは、いつかは落ちていく。
- ・他人の幸せのために尽くすことは自分のために尽くすこと。
- ・無限の神様の力は偉大。人間は代理として生きていることを心得、常に神の心に近づくように努力すること。世のため、人のためを考え、出会う人を助けることが幸せの道だと思う。
- ・トイレ掃除をすると心が輝き寿命が伸びるはず。特に汚れた公衆トイレをきれいにすることは良い。
- ・相手に対し妬みや怒り、憎しみなどの想いを募らせると、それが悪念となって伝わり、発した本人も受けた相手も痛みなどで苦しむ。相手に対して敬い感謝する心(愛念)を伝えると、その心は相手に伝わり、相手も自分も心身が軽い感じがする。
- ・悪霊とは、あの世で苦しんでいる人が、この世の人に善を与えたり助けを求めたりするために存在するもの。この世の人たちにいろいろなメッセージを伝える役割をもつと考えられる。
- ・若い時に楽をすると、年をとって楽にいられないと思う。若い時は外に出て苦勞し、人生の修業をすることが、その後の人生に非常にプラスになるはず。楽をする人は魂を磨けない。岩(石)が転がって丸い石になるように、心も磨かれて滑らかになる。悲しいこと、うれしいこと、困難なことなど、さまざまなことに出会いぶつかり、反省したり味わったりしてこそ磨かれていくもの。
- ・不義理をすると自分の幸せが天から引かれる。他人に与えることで、やがて自分に返される。子孫のためにも義理人情を欠いてまでお金や

おり、私たちの生き方は子孫に影響するのです。この世に生まれてきたのはご先祖様のおかげであり、自分のため、子孫のために修業をするためなのだと思います。

ご先祖様は心配な時や苦しんでいる時だけでなく、喜んでいる時にもメッセージを送ってくれます。私の体験では、額や胸が温かく感じる、左足の親指が痛むといったことが体にきます。

●結婚は人生の修業

人は結婚して子どもを育てて、はじめて父母の苦労が本当にわかるのでしょう。父母への感謝の心を忘れないこと、子どもに対してはできるだけ争いをしないように育てることが大切です。

40代前後の未婚者も増えましたが、そろそろ人生の裏表を知り尽くしている年代です。縁ある人と出会ったら結婚を勧めたいです。皆この世に修業に来ているとすれば、結婚は重要な修業だと思うからです。ケンカはしても良いので、すぐに仲直りすること。それがストレスなく、お互い健やかに過ごせる方法です。

70代～80代で共に健康なご夫婦に話を聞くと、夫は妻に、妻は夫に互いに尽くすこと。「ありがとう」「すみません」の素直な心で互いを思いやるのが夫婦の生きる道であり、心身の健康のもとなのだと実感します。そして両家の父母を大切にすることで、老後に自分たちが子どもたちに大切にされることを確信しています。

どんな人にも、どんな人生にも欠点があります。それは修業であるかぎり当然のこと。足りないものを見るのではなく、やるべきことを一心に尽くしながら、感謝と許し、思いやりと「足るを知る」精神で生きていきたいものです。

●病気や要介護にならない生き方

人間は誰でも年齢と共に身体が老化していきます。これは止められないことです。自分の身体と上手に付き合い、介護にならずに天寿をまとうする人がいれば、自由がきかない身体になり、長い介護で自分も周りも大変なことになる人もいます。もちろん肉体の状態もありますが、たくさんの人たちを見て、相談に乗ってきた経験から、老後の状態にはそれまでの生き方が表れることがわかります。

介護にならないためには、若い時からできるだけ争い事をせず、他人に迷惑をかけないこと。世のため人のために尽くすこと。思いやりの心をもつことが大切だと思います。何度も書いてきたことですが、本当にその通りなのです。

悪いことをしてきた人には老後の幸せはきません。もちろん、自分の間違いに気づいて、反省し、人のために尽くしていけば、神にも仏にも周囲の人々にも許されて、良い方向に進むことができるはずです。

たとえば私自身、心と身体の間わりを学ぶために血圧を測って気づいたことがあります。楽しい毎日を過ごした時は、血圧が通常より低くなります。人間関係で悩みがあったり、人から憎まれたり妬まれたりした時は、血圧が通常より10～20程度高くなります。すぐにはっきり表れるのです。夜眠れない時や、自分の中に怒りや憎しみがある時も血圧が上がります。

医学的にはストレスが原因だと言われますが、それだけではないことがわかります。現代の医学では、原因も解決法もはっきりしない不調がたくさんあります。これだけ科学が進んだ今でも、人間の心身については、わかっていることのほうが少ないくらいです。

それは心の持ち方が影響しているからではないでしょうか。身体だけを検査したり診察したりしても、わかるはずがないと思います。実際に、痛みや病気、原因不明の不調で苦しんでいる人が、争いをやめ、憎しみや妬みを捨てたことで調子が良くなる事例をたくさん見てきています。この目で見て聞いた本当のことなので疑いようがありません。

つまり病気には物的なもの、心的なもの、霊的なものがあるということです。たとえばお腹が痛いというのは物的な症状です。悪いものを食べてお腹が痛くなるのは、原因も物的です。けれど、仕事が忙しくストレスが溜まってお腹が痛くなることもあります。これは心的な腹痛です。そして、ご先祖様の中にお腹の病気で亡くなり、今も苦しんで助けを求めている人が送るメッセージもあります。これが霊的な腹痛です。争いや憎しみ、恨み、妬みなどから悪念、生霊を受けてお腹が痛くなるのも霊的なものです。身体に水が溜まる症状の人は、お墓の中に水が溜まっているケー



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

命が消えるまで心身健康でいるための 生き方 (2)

森安 政仁 (九州日本サイ科学会前会長)

●ご先祖様を敬う

私たちが今ここに生きているのはご先祖様がいたからです。ご先祖様に感謝し敬うことは、生きることそのものとも言えます。私はたくさんの人から相談を受ける中で、その人たちのご先祖様の気持ちを汲んできました。ご先祖様の願いは共通して「仲良くしてください」ということです。皆、それを伝えてほしいというメッセージを送ってきます。

老後の夫婦の生き方の参考になると思われる事例を紹介しましょう。ご主人85歳、奥様81歳のご夫婦が相談に来ました。半年前は元気だったのに、6ヶ月で奥様は腰と足が悪くなりヨチヨチ歩きの状態、ご主人は認知症を発症していました。

こうなったのも夫婦が争いを続けた結果だと考えます。両家のご先祖様が心配して、あの世で苦しんでいることの表れです。このままでは良いことはないでしょう。あの世からのメッセージに早く気づいて、どちらかが、もしくは互いに詫言いでいくことが必要です。

夫婦とは、育ちも生きてきた環境も違う人が縁あって結ぶ関係です。素晴らしいことであると同時に、人生の修業の場でもあります。ケンカはしてもいいけれど、互いにストレスを解消し短期間でスッキリと終わらせることが大切です。

夫婦や家族にかぎらず、仕事の面などでも争いごとを続けているとご先祖様が心配して、あの世で苦しみを受けてしまいます。すると今世

の私たちがどんなに努力しても、悪い方、悪い方へと進んでしまうような気がします。私の知るかぎり、争いごとの多い会社は皆ダメになっていきます。

財産争いによって苦しむご先祖様もたくさんいます。財産争いは人生の幸せを消し去ります。ご先祖様はあの世で苦しみ、現世での事業も家庭も良いことはありません。このような相談を受けると、争いやその家には関係ない私でさえ眠れなくなります。その家のご先祖様が助けを求めてくるからです。

争いで得た財産はすぐになくなり、身体は痛みや病気で苦しみます。兄弟姉妹の心が調和しなければ、ご先祖様の守りは受けられません。そんな財産に意味があるのでしょうか。財産よりもずっとずっと大切なものがあるはず。私のアドバイスを実行して争いをやめ、愛のある行いを続けた人は不調が解消して喜んでくれます。素直な心のおかげで老後も幸せに過ごせるでしょう。

また、仏壇の下の方の中箱の中にいろいろな物を置いていた家庭では、夫婦ともに両足がしびれて悩んでいました。仏壇を大切に整えていなかったことが原因と思われます。仏壇の周りを整理して、置いてあった物を取り除くと、しびれは軽くなったということです。

逆の話になりますが、喘息はご先祖様の誰かが在世中に人知れず悩みをもち苦悩した年が子孫に表れるともいいます。このようにご先祖様と私たちは見えない世界を通して深くつながって